

前期 の感想

C108119A 菅原 伸悟

初めてプログラミングを体験したときは、正直ちゃんと起動するか、プログラムに間違いはないかなど、様々不安はありました。しかし回を重ねていく毎に、プログラムを作ることに自信がついていき、自分の広告プログラムを作成する頃には、プログラムを作ることに楽しさをおぼえていきました。プログラムが完成し、実行して正常に作動したときには、この上ない達成感を得ることができました。

「基礎プログラミングⅠ」ということで、一年生の情報リテラシーとはまた違う様々な内容を学びました。そのため、授業に付いていけないことも何度かありました。そんなときは事前に予習として、次の授業で使用するプログラムを作っておきました。そうすることで、授業で行き詰まることが無くなり、以前よりスムーズに授業に取り組むことができました。いかに予習というものが大切かということを改めて知らされました。

毎回のレポートも、最初はわからずに悩んだことがなんどもありました。しかし、その度にTAの先輩に教えてもらったり、友人と切磋琢磨して教えあったりすることで確実にこなすことができました。後期は、前期で学んだことを活かして、少しでも自分の力でこなしていけるようになりたいと思います。

これからのグループ活動は、前期の授業の総まとめとしてふさわしいプログラムを作り上げるために、同じグループのメンバーと協力し合って頑張っていきたいです。